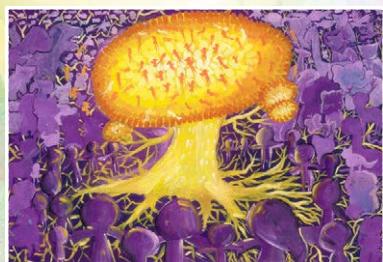
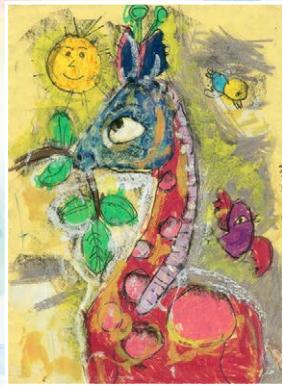




花王国際こども環境絵画コンテスト

KAO International Environment Painting Contest for Children



kao

きれいをこころに 未来に

第16回(2025)
受賞作品集



花王国際こども環境絵画コンテスト

KAO International Environment Painting Contest for Children

花王は、世界のこどもたちから、環境・未来への想いを表現した作品を募集する本コンテストを2010年より実施しています。そして、こどもたちの想いを込めた絵が、世界中の人々の心を動かし、サステナブルな暮らしのきっかけとなることを願い、展示にも取り組んでいます。

第16回となる今回は、世界中のこどもたちから25,159点の応募がありました。

選ばれた31点の受賞作品を、こどもたちがそれぞれの作品に込めたメッセージと共にご紹介します。



審査員長

益田 文和

デザインコンサルタント、
株式会社オープンハウス
代表取締役

今年は、「これまでとは違う」という審査員の声が多く聞かれた。本コンテストが始まった当初は「ゴミを拾う」など、環境問題に直接結びつくアクションを描いた作品が多かった。しかし、世の中の変化とともにテーマは大きく広がりを見せている。今年の作品は、こどもたち一人ひとりが自分なりの気づきを見出し、それを表現することで、奥行きと多様性が生まれていたと思う。技量の面においても、それぞれの個性がより一層表れてきている。時代を反映した作品が多く集まつた回であったと感じる。



大久保 澄子

美術家

今年の作品は、これまでとは異なる視点でのを捉えた表現や、こどもたちの夢が広がっていく様子がうかがえた。テーマ性だけでなく、描き方も抽象から半具象、具象までと幅広く、多様化が進んでいる。技術的にも水準が高く、今回もこどもたちが真剣に作品づくりに取り組んでいることが伝わってきた。こどもらしい伸びやかな筆のタッチの作品とは異なるが、全体として完成度の高い作品が揃い、そこにこどもたちの成長を感じられた。



松下 計

東京藝術大学 教授

こどもたちの絵を見ることは、大人にとって刺激的で、多くの気づきを与えてくれる。これからの時代に求められるのは、もう一度個人の情動に立ち返り、物事をどのように捉えていくかを見つめ直すことだと感じている。今年の作品を見て印象的だったのは、「環境とはこうあるべき」「こうあってはいけない」という主張ではなく、「私はこう感じている」という、こどもたち自身の感性や思いを表現した作品が多かったことだ。その素直な視点こそ、私たちが直面している課題とシンクロする部分がある。非常に発見の多い審査会であった。



レオナルド・バルトロメウス

山口情報芸術センター
キュレーター

技術的にも、芸術的にも全体のレベルが向上していると感じられる審査会だった。ストーリー性を感じさせる作品も多く、こどもたちの豊かな想像力が伝わってきた。審査を行う際には、どうしても大人の視点が入りがちである。しかし、なにより大切なのは、こどもたち自身が絵を描くときにどのような視点を持ち、どのような考え方をしているのかを意識することだ。大人の視点ではなく、こどもたちの視点や感性を尊重しながら振り返ることの重要性を、改めて感じた審査会であった。



綾海

廃材アーティスト

今年で2回目の参加になるが、昨年とは大きく異なる印象を受けた。昨年は、どこか悲しさや切なさが感じられる作品が多かったのに対し、今年は「私はこう感じている」「こうなってほしい」といった、素直でポジティブな想いを表現した作品が目立っていた。そうしたこどもたちの感性に触れ、見ていて和やかな気持ちになった。また、全体を通してみると、こどもたちは「縁」や「自然」といったテーマに強く惹かれている様子がうかがえた。「縁が好き」というこどもたちの想いが、作品の中にも表れていたように感じる。



田中 篤史

花王エコラボミュージアム
館長

受賞作品には、多彩な視点や表現、色使いなど、さまざまな工夫が見られた。そのバリエーションの豊かさから、まさに多様性を感じる作品が多く評価されていたことがうかがえ、非常に意義のある審査会だった。そして、今回の審査を通じて改めて感じたのは、私たち大人が持つ常識や正解を探しに行くのではなく、絵から「こどもたちの想い」を純粋に受け止めることの大切さである。絵に対してだけでなく、あらゆる場面でこどもたちの視点に立ち、学び続ける姿勢を忘れずにいたい。

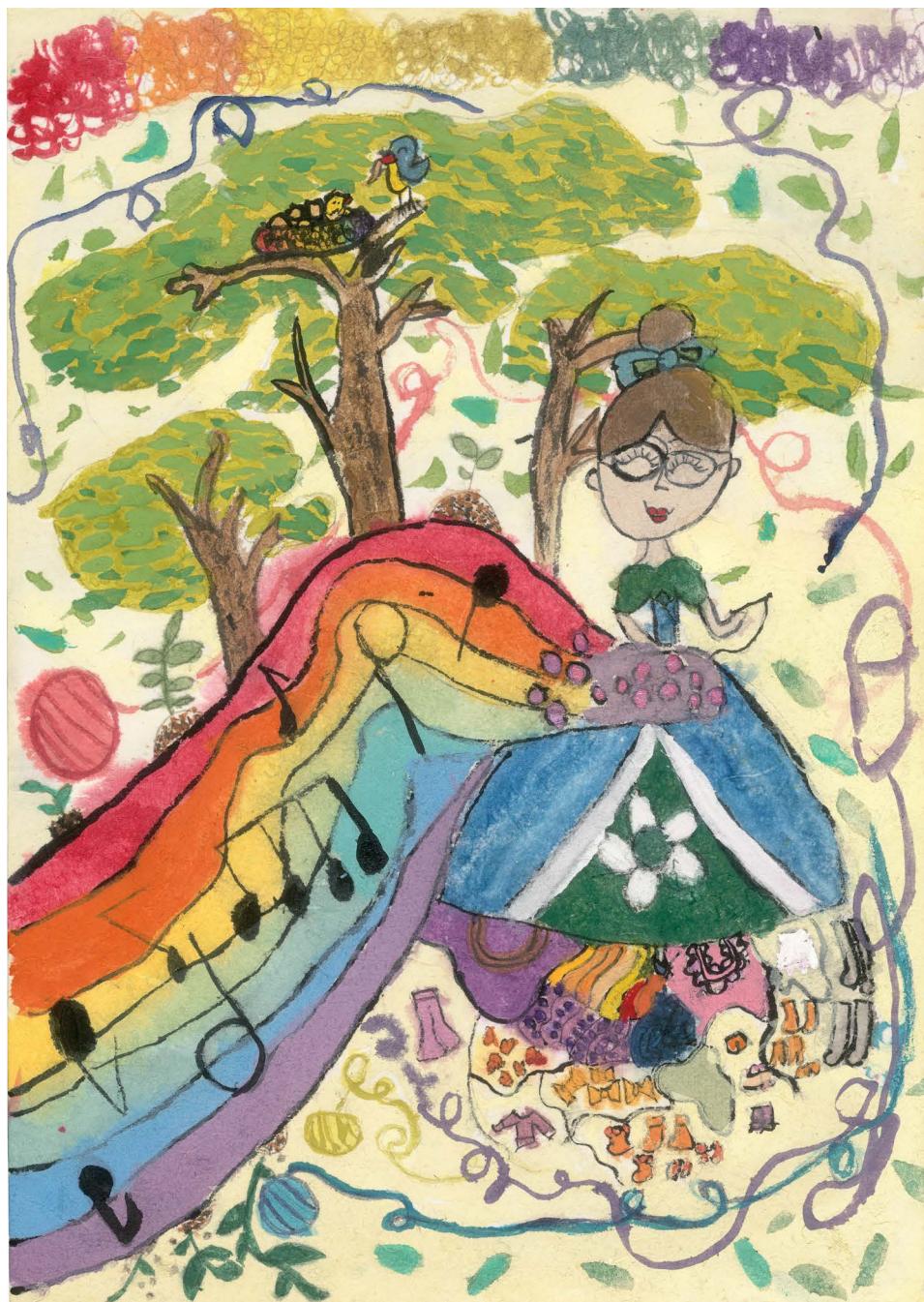


片平 直人

花王株式会社
作成センター長

ここ数年は、自然の偉大さや、長年受け継がれてきた伝承をテーマにした作品、また、環境問題をわかりやすく描いた作品が多かったように思う。しかし今年は、これまであまり描かれてこなかったテーマや、今までにない独自の表現を取り入れた作品が選ばれた印象だ。並べて見てみると、こどもたちの絵から多様な考え方や視点が感じられる。こどもたちの多様性に富んだ視点を広く伝え、地球の未来について考える機会を創出することこそ、このコンテストを世界規模で開催する意義であると改めて感じた。

～花王Kirei大賞～



「環境保護を紡ぐ魔法使い」

絵に込めた想い

お母さんに、「着られなくなった服は、必要な人にあげなさい」と教えられました。売れない古着がたまると環境を汚すからです。私はこの絵で、「古着を寄付して、地球の未来を守ろう。」と伝えたいです。この絵で描かれた“地球の女の子”は、いろんな古着を表していて、きれいな森と鳥のために虹色の布を紡いでいます。

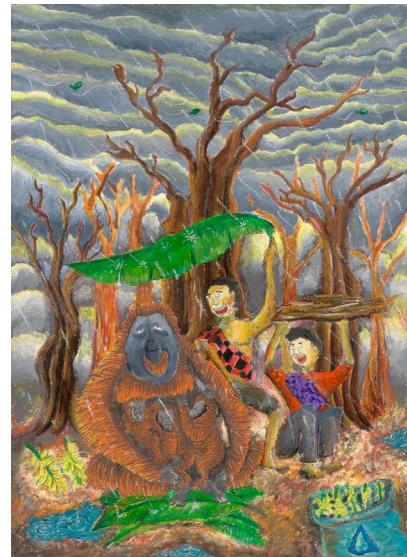
審査員 講評

「着られなくなった服は、必要な人にあげなさい」というメッセージを、こどもならではの視点で描いた作品。古着が生まれ変わっていくストーリー性のある構成と、卓越した色彩感覚、描写力を高く評価した。

花王 特別賞



「思いやりの絆」



「待ちに待った雨」

絵に込めた想い：森を守るために、地域の人々やこども、大人、いろいろな団体が力を合わせています。思いやりの絆が人間と森を強く結びつけます。まわりの花や自然、動物たちを見ていると一見静かでも、生命に満ち溢れていることがわかります。

審査員講評：自分が見た世界をそのまま表現する作品が多い中、実物とは異なる色で描き、さらに木の中にある実際に目に見えない生命体を表現した点が非常に独創的。強いインパクトとメッセージ性を感じる作品だ。

絵に込めた想い：カリマンタン島では、干ばつと森林破壊のせいで、オランウータンたちがジャングルのすみかを失いました。今、そのすみかを守るのは、雨と人間の思いやりだけです。

審査員講評：インドネシアに暮らす作者が、自然と人間の共生への想いを、強い危機感をもって表現したことが感じられる作品。森林破壊によってオランウータンが絶滅の危機にあるインドネシア。自然と人間との関わりについて深く考えさせられる。



「水面から生まれるいのち」



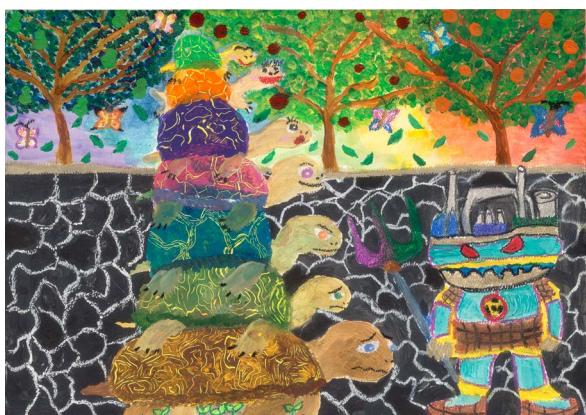
「みなが生きるために」

絵に込めた想い：漁師が静かな水の上に網を投げています。この絵は、川や海のそばで暮らす人たちのために、水をきれいに保つことの大切さを伝えています。

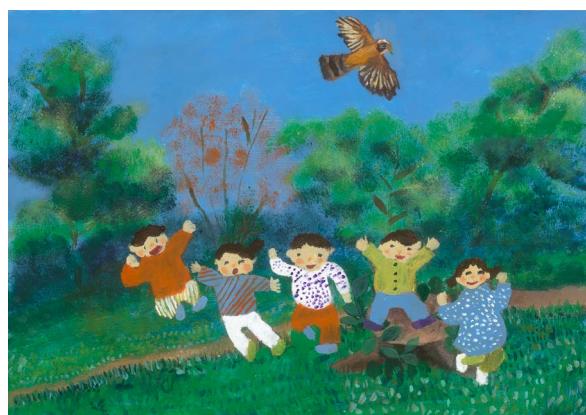
審査員講評：捕らえた魚を愛おしそうに抱く人物は、このあと魚を食べるのだろう。飼育動物に対しては起こり得ない情景だが、人間は野生の命をいただいて生きている。自然との本質的な共生をさりげなく表現した、心に響く作品。

絵に込めた想い：いま生きている生物や自然と人間が、いっしょにくらしていくように考えてきました。人間がこわしてしまった自然の分、木を植えたりして環境を守りたいです。

審査員講評：グラデーションで表現した色づかいと、あえて生物を特定せず多様な種が共生する未来を描く独特の感性が際立つ作品。各生物の配置の仕方も巧みで、世界に新たな関係を生み出そうとする意志が感じられる。



「希望の守護者」



「宍塙の里山に遊びに来てね」

絵に込めた想い: 環境を守り、次世代へつなぐおもいを表しました。「見張り役」は環境への負担を、壁とひびはその影響を示しています。大きな亀は未来を守る今の姿で、環境がよくなると悲しい顔から笑顔に変わり、次世代に美しい環境を見せることができます。

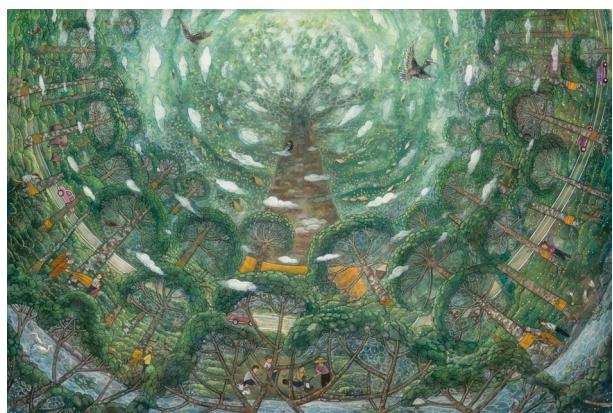
審査員講評: 現代の環境への憂いを大きい亀の表情に、未来への希望を背中に重なる小さい亀たちの表情に託しているのだろうか。未来の世代により良い社会を残さなければならないというメッセージを、豊かな感性で表現している。

絵に込めた想い: 夏の里山の絵で、中央の木は枯れています。ナラ枯れです。僕はナラ枯れ対策の活動に参加しましたが、難しかったです。今も里山の木は枯れています。みんなが里山に来て里山の事を知ってもらうためにかきました。

審査員講評: 舞台美術のような世界観を感じる作品。時が変わってもその場にあり続ける木々に対し、こどもたちや鳥は自由に動き回ることができる。その対比が印象的だ。動きがある絵を描くのは難しいが、巧みに表現している。



「豊かな自然のための一歩」



「自然は生命」

絵に込めた想い: 人間の活動によって、地球は荒れ果て、豊かさを失います。このことが、動物の命、地球温暖化などさまざまな影響を生み出しています。豊かな地球を取り戻すために、私たちは心を一つにして協力し、踏み出す必要があります。

審査員講評: 自然保護に踏み出した人類を俯瞰構図で大胆に描いた、メッセージ性の高い作品。地球温暖化を赤い色調で表現しつつ、平和のシンボルである白い鳩が舞う姿も描かれている。その色彩感覚が素晴らしい。

絵に込めた想い: 私たちが協力して自然を守り、次の世代にもその大切さを伝えなければ、地球は美しく、有害な汚染もなくなります。きれいな空気とよい環境が、未来まで続くでしょう。

審査員講評: 透明感と躍動感にあふれる作品。中心には、力強く真っすぐ伸びる大木。その周囲には光の輝きと、立体的に描かれた円状の木々が連なり、自然のつながりを想起させる。人や生物を細部まで丁寧に描いている点も素晴らしい。

審査員特別賞



益田氏推薦

「夜の空、美しい自然」



大久保氏推薦

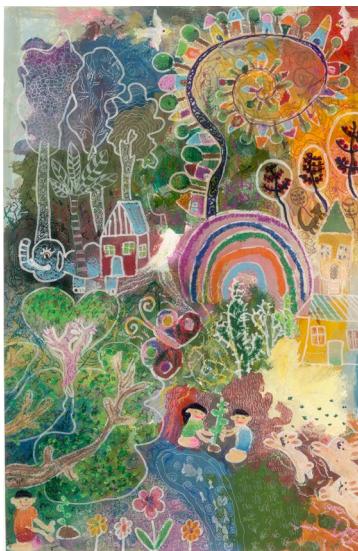
「私たちの木はコウヨウジャクの家」

絵に込めた想い：夜の空はとても静かで自由です。人間も動物も、大自然の中で自由にのびのびと過ごすことができます。

審査員講評：夜の清々しさを表現した作品は本コンテストでは珍しく、その着眼点の鋭さに驚かされた。人間が寝静まる夜間には、実は多くの動物が活動している。そんな夜を心地良いと思う感性に共感した。

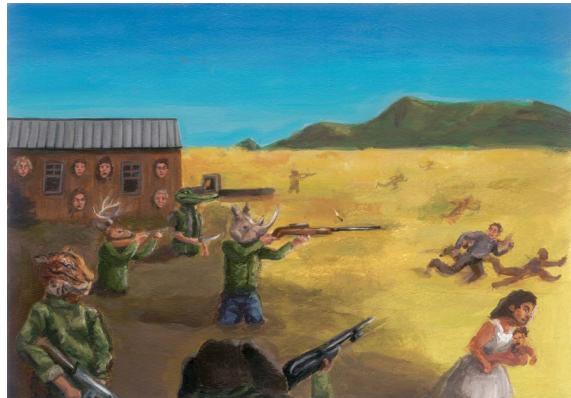
絵に込めた想い：コウヨウジャクは群れでくらし、大きな木に巣をつくります。木は外敵から身を守る強い盾です。コウヨウジャクが安心して大きな家に住みつけられるように、みんなで木を守り、森をよみがえらせましょう。

審査員講評：「鳥たちの生きる場所を守ろう」というメッセージを、黒い枝と黄色い鳥のコントラストで、シンプルに表現している。中央に描かれた月は、希望の象徴として描いたのだろうか。多様な解釈ができる作品だ。



松下氏推薦

「私たちの手で作る美しい自然」



バルト氏推薦

「自分がされたいことを、相手にも」

絵に込めた想い：絵に使われたいろんな色は、同じ世界に生き物の多様さを表しています。大きな家、小さな家、めずらしい木々。助け合えば、ともに生きていけます。私たちの手で、よりよい環境をつくりましょう。

審査員講評：パレット上ではなくキャンバス上で色を混ぜ合わせているのが特徴的。さまざまな色の混ざり合いを通して、個性が調和する社会を表現していると感じる。多様性が共存する社会について考えさせられる作品である。

絵に込めた想い：密猟問題に光を当てたいと思います。捕る側と捕られる側の立場を逆転させ、絶滅寸前の動物たちの立場に立って考えてほしいです。人々の野生動物への共感や敬意を育み、平和と調和の中で共存していくきっかけになればうれしいです。

審査員講評：発想の面白さが光る作品。サステナブルな環境のあり方をテーマに描いていることが伝わる。自分がしてもらいたいことを思い浮かべれば、他者にやさしくできると気づかてくれる一枚である。



綾海氏推薦

「野生界の王様 - ライオン -」



田中氏推薦

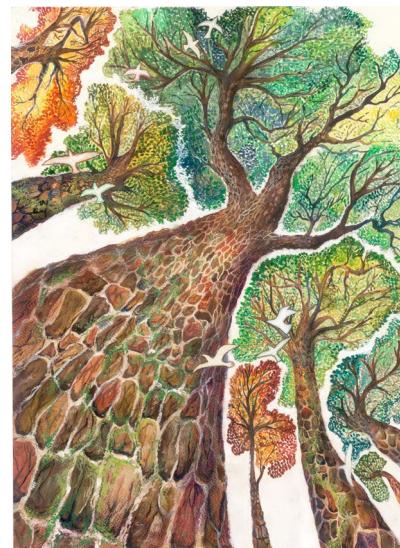
「自然は、かけがえのないダイヤモンド」

絵に込めた想い：森は酸素をつくるたいせつな場所で、そこに暮らすいろいろな野生動物の中に、森の命が息づいています。その動物たちの王様が、私たちの大好きなライオンです。ライオンはみんなを導き、幸せを考えています。

審査員講評：ライオンのとても堂々とした表情が印象的。森を守ろうという強い意志を感じられ、作者の思いがしっかりと表情に表れている。みんなが好きなライオンが森を守るというシンプルな想いもよい。

絵に込めた想い：自然のめぐみは、輝くダイヤモンドよりも貴重で尊いものだと知っていますか?そのおかげで、すべての生物が成長し繁栄していけます。すべての生物が存続できるように、自然を守っていかなければなりません。

審査員講評：色とりどりの宝石が植物のようにび、美しく構成されている。宝石の中には自然や生き物の姿が描かれており、貴重で尊いものを望む人の純粋な想いが、環境を守ることにつながっている。環境保護の理想的な姿を表現されている作品。



片平氏推薦

「緑の大聖堂」

絵に込めた想い：木々が空を持ち上げる巨人のように見え、葉の間を白い鳥が木の葉の間を通り抜けるとき、風を感じます。世界にもっと森がふえ、森林破壊や汚れがなくなり、こどもたちが空を見上げたとき、この緑の大聖堂を見られるよう願っています。

審査員講評：「緑の大聖堂」というタイトルながら、緑そのものではなく、それを生み出す幹を力強く描き、描かれていねいな根の存在まで感じさせる。細やかな木肌の描写から、自然への深い愛情と丁寧な観察眼が伝わる作品である。

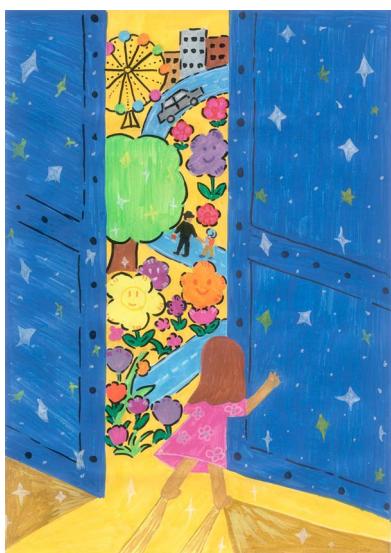
花王社員賞



「世界を青く塗る」

絵に込めた想い:木を植えたり、エネルギーを節約したり、環境保護の絵画コンテストに参加するといった小さな行動が、私たちの世界がより環境にやさしく、もっと美しくできるというメッセージを絵に込めました。

∞ 優秀賞 ∞



「海の環境保護部隊」

絵に込めた想い:海の美しい自然は、時間が経つにつれて、少しずつ失われています。だから私は、「海を守るチーム」をつくって、海を昔のように美しい姿に戻したいです。

「より明るく、 環境に優しい未来への扉」

絵に込めた想い:暗い世界から明るい未来につながるドアを開く少女を描いています。木や花があふれ、きれいな川、笑顔の人々が広がる持続可能な未来です。自然を守り、ごみを減らし、もっと環境に優しい町をつくるために協力することが大切です。



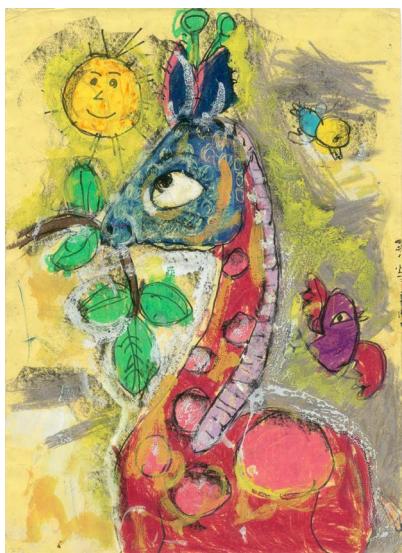
「木と命」



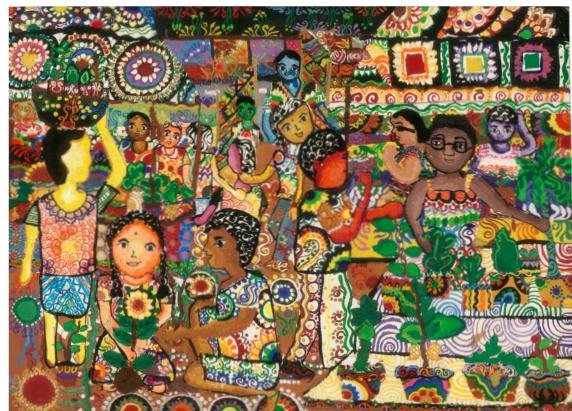
「みんなで海をきれいにしましょう」

絵に込めた想い:木の緑が大好きです。でも木は、緑を見せてくれるだけでなく、私たちの暮らしを守っています。木がなくなると災害が起こります。木を大切にして緑をもっと増やしましょう。私はすべての緑の木々を抱きしめたいです。

絵に込めた想い:友だちといっしょに海にもぐって、びんやごみを拾いました。海がきれいになって、カメや魚たちが幸せにくらせるように祈っています。



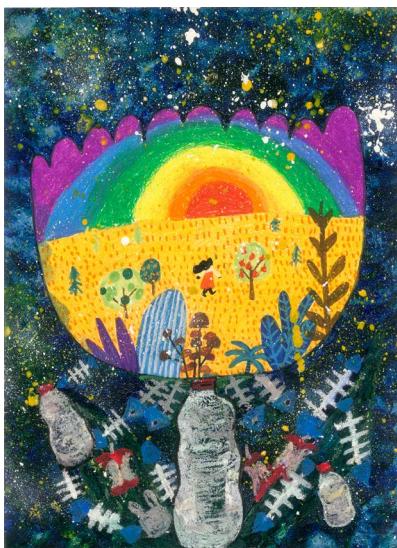
「虹色のキリン」



「木を植える」

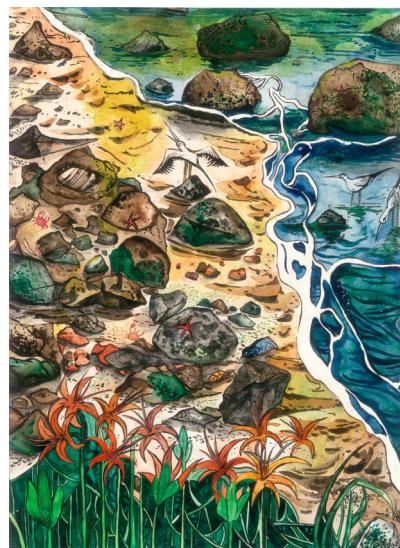
絵に込めた想い:このキリンは色であふれています。まるで自然のまほうのようです。こんな特別な動物たちが野生でかがやきつけられるよう、守っていきたいです。

絵に込めた想い:小さな手が柔らかい土にそっと触れ、朝の新鮮な空気に笑い声がひびきます。こどもたちの顔は土で汚れ、目は好奇心で輝いています。みんなで力を合わせて、小さな苗木を一つひとつ地面に植えていきました。



「ボトルが自然を呼び覚ます」

絵に込めた想い:かわいた地球と新しい緑のいのちを対比させています。美しい自然の情景をボトルが支えており、ペットボトルは環境に対する負荷を表しています。素晴らしい生態系は人類のあこがれです。



「海のそばにある希望」

絵に込めた想い:ごみがあっても、海辺にはまだいのちがあることを伝えたくて描きました。手前の花は希望と美しさを表しています。砂や海にはごみがありますが、動物たちは生きています。人々がごみをすてないことを願っています。



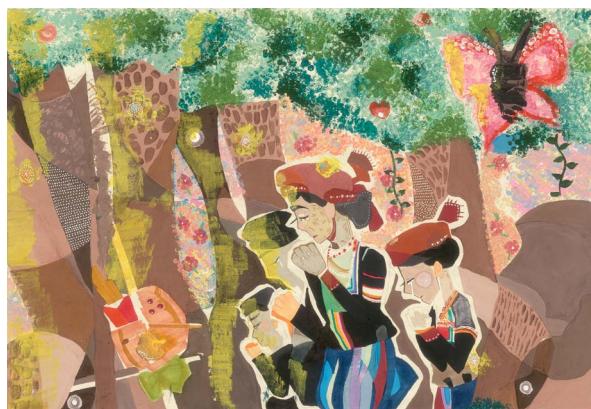
「パンダへの贈り物」

絵に込めた想い:もし魔法が使ったら、パンダたちに竹と仲間がたくさんいる大きな森をおくります。みんなが毎日しあわせに暮らせるようにしたいです。



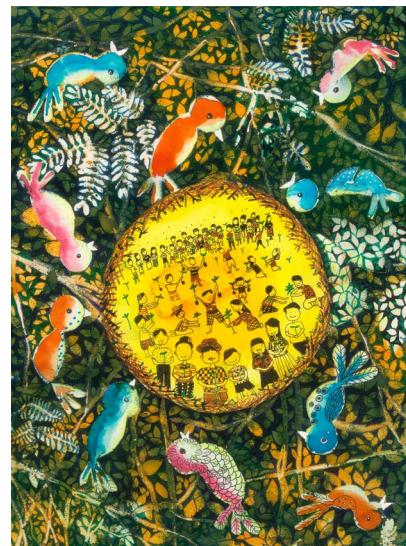
「小さな緑の家の誕生」

絵に込めた想い:家族と森に木を植えたあとに描きました。木を植えたり自然を守ったりすると、世界はもっと幸せになります。小さな行いが、私たちを取り巻く世界を形作ります。緑豊かな世界を一緒につくりましょう。



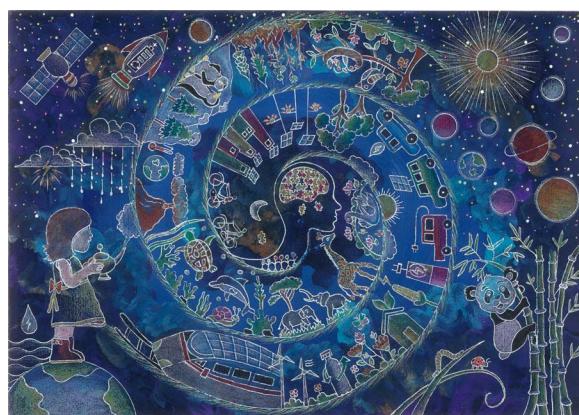
「ペオ村の森の礼拝儀式」

絵に込めた想い：人々は虹のようにカラフルな服を着ています。木々は村の守り神。空には森の精がいて、あたりは緑でいっぱいです。森は生きていてうれしそう。動物たちも見えています。森のパーティーです!世界中に緑を広げたいです。



「美しい小鳥たちに森をかえそう」

絵に込めた想い：人の住む小さな森は、農地をつくるために焼かれることがあります。森がなくなると、小さな鳥などの動物はほかの場所へ行ってしまいます。豊かな森は、生きものたちの美しいすみかです。



「人間の心が解ければ、 サステナビリティも解決する…」

絵に込めた想い：サステナビリティは心の調和から始まります。お母さんと子の心の中にある宇宙の力を少女の姿で表しました。地球には今、思いやりが必要です。リサイクルを進め、生き物を守りましょう。小さな行動が未来を変えます。



「かわいい野生動物を守ろう」

絵に込めた想い：動物が大好きで、絶滅しないでほしいと願っています。人間は動物とそのすみかを守り、できるだけ長く生きられるようにしてあげないといけません。地球は、動物や人間、みんなのものです。美しい動物たちと平和に暮らしますように。

あなたの応募が寄付になる!



3つのテーマから、応募の際にお選びいただいた環境活動に対し、
1応募につき50円を花王より寄付します。

未来を担うみなさんが描いた作品が、世界を変える一歩につながりますように。

野生動物保護



絶滅の危機にある
野生動物を救う保全活動

世界自然保護基金



WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF.
All rights reserved.

緑化・森林保全



ウズベキスタン アラル海の
沙漠緑化プロジェクト

オイスカ・
インターナショナル



海ごみ・ごみ流出対策



ごみの自然界への流出を
解決する研究開発、調査、啓発

PIRIKA



受賞作品は各国で展示されます!

世界中の人々が、それぞれの作品に込められたこどもたちからのメッセージを感じ、
サステナブルな生活を送るきっかけになることを願っています。



クールセンター八王子(東京)

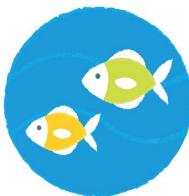


エコメッセ春日井(愛知)



キレイライフスタイルイベント(台北)

絵を通して、みんなでサステナブルな環境について考えよう!



海をきれいに



いろんな生き物と共に



ごみを減らす



温室効果ガスを減らす



森を守る



詳しくはスペシャルサイト
「花王国際こども環境絵画コンテスト」をご覧ください。
https://www.kao.com/jp/children_painting/

